

2016 年 11 月 10 日 (木)

震災・復興とリスクマネジメント () 国際都市神戸と世界の文化 () 提言：国際紛争・対立から平和・協調へ () グローバルサイエンスと拠点都市神戸 () その他 (○)

「第 5 回高校生国際 ESD シンポジウム@東京」 「第 2 回全国 SGH 校生徒成果発表会」

[概要]

1. 目的

東南アジア各国の高校生、SGH 指定校の生徒および教員が集い、持続発展可能な社会づくりに向けたシンポジウムを開催することを通して、参加者とその在籍校生徒・教員が持続発展可能な社会を目指して地球的課題に主体的に取り組む姿勢を涵養する。また SGH 各校の生徒が集い SGH に関する成果や実践内容を共有し、グローバル人材としての資質を高める。

2. 日時 平成 28 年 11 月 10 日 (木) 9 時 50 分～15 時 30 分

3. 対象 全国の SGH 校および SGH アソシエイト校の生徒

4. メインテーマ：SDGs and High School Students –17 goals to change our world–
～SDGs と高校生：17 の開発目標から創造する私たちの未来～

5. 海外からの参加校

- インドネシア環境林業省附属高等学校 (インドネシア)
- ボゴール農科大学附属コルニタ高等学校 (インドネシア)
- カセサート大学附属高等学校 (タイ)
- フィリピン大学附属高等学校 (フィリピン)

6. スケジュール

時間	活動内容
9:30	受付開始
9:50	開会行事
10:00	高校生国際 ESD シンポジウム開始 海外参加校および SGH 校によるプレゼンテーション (途中に休憩を入れます)
11:20	パネルディスカッション (25 分)
11:45	午前の部閉会行事 (15 分) ・ポスターセッションの案内 ・JICA 国際協力機構から、青年海外協力隊事業に関する案内
12:00	昼食休憩
13:00	SGH 校成果発表会開始 参加 SGH 校紹介・移動
13:20	ポスターセッション 90 分 (45 分×2)
14:05	ポスターセッション第 2 グループ開始
14:50	閉会行事 (講評・写真撮影 等)
15:30	終了



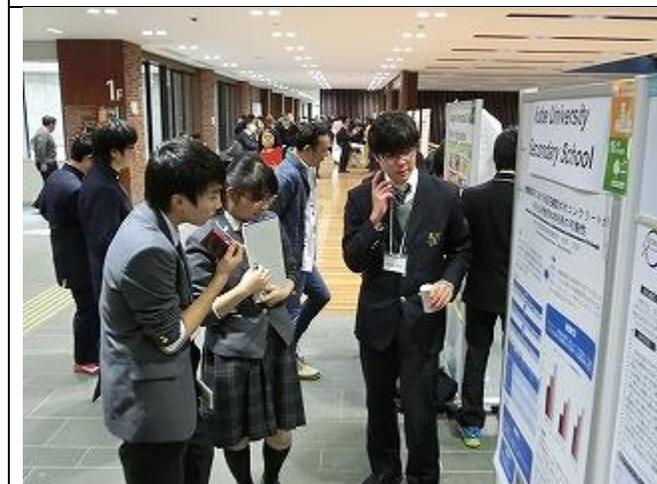
SGH 校の海外交流活動の発表



ポスターセッション



本校からは卒業研究の 6 年生と SGH 仙台交流の 4 年生が発表しました



6 年生の M さんの発表です

木片コンクリートの強度の測定による建築素材としての利用可能性の検証

Verification of Usability of Woodchip Concrete as a Building Material by Measurement of Its Strength



4 年生の SA さんと SB さんの発表です

被災地から学ぶ防災～神戸への発信につなぐ～

Disaster Prevention through Learning from Disaster Affected Area: Applying Lessons from Tohoku to Kobe



4 年生 SA のさんの所感

今回の成果発表会は、これまでの仙台交流活動で学んだことを再度確認する良い機会となりました。また、他校と交流を行うことで、自らの活動に強い影響を受けました。昼の合同交流で、互いの研究した内容を組み合わせる際、本校のテーマだけでなく様々な視点に目を向け、10 年後にも続く安定かつ安心な街づくりを考えることが出来ました。これらを通し、今後の活動では、各地域に意識を向けて進めたいと思います。

4 年生 SB さんの所感

今回の SGH 校の交流会はとても充実したもので、仙台交流活動に関わらず、自分自身の神戸プロジェクト（総合的学習）の論文のためにもなるものでした。まず、外国の学校や国内の SGH 校の発表を英語で聞きました。私たちが行う活動も国内にとどまらず海外にも発信しなければならないと感じました。ランチディスカッションでは、他校の活動内容を聞いて、ディスカッションを行いました。例えば、ある学校では発展途上国の経済に関する研究を行っていました。ポスターセッションでは、来て下さった方々から沢山の質問をもらいました。「レジリエンス」とは何か、という質問と外国の方から英語で内容を聞きたいと言われたとき、すぐに答える事が出来ず、未熟さを感じました。また、他校のポスターセッションを見に行き、学んだことを地域に貢献するという事の難しさを感じました。